

(特非) いきものいんく

地域一体型環境教育 「西胆振 野生児育成プロジェクト」の実施

ひろげる助成

3年目

実践

イベントの参加者 660人

写真展の来場者
(札幌+洞爺湖) 560人

今年度計画の達成度 95%

目標達成度 90%



ヘビ・トカゲ学習の様子

課題

環境破壊の要因として「子どもの自然離れ」が挙げられる。環境や野生動物、それらのつながりによっていかされていることを実感する機会が少ないことが大きな課題である。

目標

- ① 自然環境や野生動物に配慮できる視野の広い子ども
 - ② 自分で考え、行動し、解決できる自立した子ども
- こういった人材を育成し、日本固有で豊かな自然環境保全を目指す。

活動内容と成果

● 北海道西胆振地域の小・中学校にて、年間延べ200時間の授業を実施した ● 子どもたちが、自然の中でおもいきり自由に遊び、生きもののどうしの「つながり」や外来生物問題、ロードキル（野生動物の交通事故）、野生動物へのエサやり問題など、人間の活動が引き起こす環境問題について学ぶ日帰り行事や1泊2日のキャンプを計33回開催し、延べ660人が参加した ● 環境教育や生物多様性、外来生物問題の普及啓発を目的とするイベント「いきものいんく写真展」を札幌と洞爺湖の2会場で延べ11日間開催した



川の生きもののさがしの様子



いきものいんく写真展の様子

全助成期間の活動を振り返って

この3年間の助成により、組織的にも経済的にもしっかりとした基盤を作ることができた。また、周辺市町との教育委員会との連携をはじめ、官民問わず様々な団体・個人とのつながりができ、活動の幅が大きく広がった。「様々な人との関わり合いで、活動が広がる…」ということを感じた3年間だった。

活動地域 | 北海道

〒052-0025 北海道伊達市清住町47-1

電話：080-6068-3352

E-mail：info@ikimono-inc.jp

https://ikimono-inc.jp



今後の
展望

この環境教育活動が当団体単独のものではなく、地域一体となった取組みに発展し、環境問題に対する高い意識と広い知識を持つ人が増え、自然環境保全が地域住民の共通意識となるようこれからも働きかけていきたい。そして、地域一体となって環境教育に努め、環境教育が地域の持続的な経済基盤の一つとなるよう活動を発展させていく。